

コマースの興亡の行方

—商業倫理・流通革命・デジタル破壊—



グローバル化、デジタル化に地球温暖化、そこにパンデミック（新型コロナウイルスの世界的大流行）が加わった。巷では「歴史的な転換期」との声がしきりである。コマース（商業・商い）の世界ではインターネット社会の到来により、情報的にエンパワーメントされた消費者が流通・マーケティングプロセスに積極的に関与するようになる一方、企業がその一挙手一投足をデータで把握し、消費者行動をコントロールする可能性を急速に高めている。その結果、コマースはどこに向かうのか。オムニチャネルをはじめ新しい商業の形が次々に現れている。

矢作敏行『コマースの興亡史』（日本経済新聞出版）が出版された機会を捉えて、近代社会から高度産業社会を経て、デジタル社会に至る商業の経営革新動向を振り返り、各分野の専門家とともに、その行方と課題を考える。

日時 **2021年 12月4日（土）**
（開場13:30）

開催方法 **対面** [市ヶ谷キャンパス
富士見ゲート5階G502教室]
& **YouTube Live**

14:00～14:05 **開会挨拶**

【司会】浦上 拓也（神奈川大学教授、イノベーション・マネジメント研究センター
流通産業ライブラリー研究プロジェクト「地域商業研究会」幹事）

14:05～15:00 **報告：「コマースの歴史的分水嶺を読み解く」**

矢作 敏行（法政大学名誉教授）

15:00～15:10 **休憩**

15:10～16:30 **パネルディスカッション**

司会：浦上 拓也

討論者：矢作 敏行

山下 裕子（一橋大学教授）

新倉 貴士（法政大学教授、イノベーション・マネジメント研究センター所員）



プロフィール

矢作 敏行

法政大学名誉教授。日本経済新聞記者、法政大学教授を経て、現職。著書に『現代流通』有斐閣、『小売国際化プロセス』有斐閣など。

山下 裕子

一橋大学教授。一橋大学大学院商学研究科准教授を経て、現職。著書に『日本企業のマーケティング力』（共著）有斐閣、『ブランディング・イン・チャイナ』（編著）東洋経済新報社など。

新倉 貴士

法政大学教授。関西学院大学教授を経て、現職。著書に『消費者の認知世界』千倉書房、『消費者行動論』（共著）有斐閣など。

申込方法

下記専用サイトよりお申込みください。お申込み時に対面（市ヶ谷キャンパス富士見ゲート5階G502教室）とオンライン（YouTube Live）の選択が可能です。
受付完了メール（自動配信）からシンポジウムの配信リンク先をご連絡いたします。

<https://www.event-u.jp/fm/10971>

申込期限

2021年12月1日
（オンライン参加は12月4日まで申込可）



来場者定員
先着
150名

参加費
無料

【お問い合わせ】



法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL:03-3264-9420 / E-mail: cbir@adm.hosei.ac.jp / URL: <https://riim.ws.hosei.ac.jp>